

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：グラウンドワーク川口

27A-36

代表者：会長 武井 美親

URL :

1. 活動が必要とされた状況

見沼たんぼの自然環境の保護・保全をしながら、農業体験を子どもたちに伝え、見沼たんぼの生きものの生息場所の保護が必要となっています。

2. 活動の内容(実施時期、参加人数、活動内容など)

令和6年度は、幼稚園の自然観察、小学校(総合学習)・中学校の特別支援学級(2校)のしめ飾りづくりを実施し、延べ597名が参加しました。

年8回のイベントですが、ヨモギ餅つき(4月)・田植(6月)、夜の観察会・案山子づくり(8月)、稲刈り(10月)、収穫祭、しめ飾りづくり(12月)などを年間通して延べ1,040人が参加しました。小学生対象とした自然教室は9回開催され延べ111人が参加しました。民間団体や行政機関自然観察とものづくり9回で、延べ111人の参加がありました。

3. 活動の成果

これまで使用していた唐箕は、木製で手動のものを使用していました。木製のため修理をしながら作業をしていましたが効率が悪く、人手もかかっていました。

今回購入した唐箕(スチール製・電動)は小型で作業の省力化ができました。

今までの唐箕はイベントで子どもたちに体験して唐箕の仕組みなどの説明や先人の知恵を伝えていきたいと思えます。

4. 今後に残された課題

- ① 人材育成や人材確保が課題です。
- ② 見沼たんぼの環境を保護・保全していくため、スタッフが整備していく上で基本方針の再確認し、全員で意志統一していくことが重要です。



田植え



収穫祭(唐箕での選別体験)



購入した唐箕